

と同じ手まね。

力落し 「がっかり」と同じ手まね。

地球 「世界」と同じ手まね。

遅刻 「遅い」「遅くれる」と同じ手まね。

知事 国（府県州）—政治—男性（少し上にさし上げる）

恥辱 「恥」と同じ手まね。

乳 かぎに曲げた人差指を（乳豆として）口にくわえ吸う真似。

父母 父 先ず、前提として、右の頬を指指と人差指にて軽くつまみ、その手で男性の指（親指）指を出して、それを眼の上にさし上げる。この前提の手まね、即ち親指と人差指にて頬肉をつまむのは、肉親を意味する。これを唯に人差指だけで頬を少しまで降してもよい。

母 前提の手まねは父と同じ。次に女性の

指（小指）を眼の上にさし上げる。眼の上にさし上げるのは、つまり、眼上の人を意味する。

父母（両親）を一度に表わすには男性の親指と女性の小指の二指を同時に表わせばよい。

実験 実際—経験—試みる。

茶 左手掌の上で、右手薬指と中指の指頭でものをかき廻わす真似—右手で土瓶を傾けて注ぐ真似—飲む（左手の五指で湯呑茶碗を持つ恰好で。）

茶色 「煙草」の要領。煙草の色即ち茶色。

注意 「気をつける」と同じ手まね。

中学校 掌を内側にした左手の指頭を右にさした人差指と親指をコの字形に平行にして、それに指頭を上にした右手の人差指をつけて、「中」の字形をつくる。—学校。

「中学生」は、中——生徒。

仲介 指頭を上へさした右手の親指を口許にして、それを右へさし出しては口許に返らせ往復すること二三度、二人の間に立って口を利き合うこと。

忠告 (イ) 注意する——よろしい——云う。(ロ) いけない——やめる——よろしい——云う。(ハ) 怠ける——いけない——云う。等々、一々事によって具体的に手まねする。

仲裁 「まアまア」とばかり両手で制止するように仕える身振りして、「仲介」と同じ手まねをする。

中止 「やめる」と同じ手まね。

忠実 真面目(一生懸命)——正直。

中断 その前——中止。

中途 「まだ」と同じ手まね。

註文 買う——約束云う。

蝶 五指の指頭を前方にさし掌を下に向け

た両手を左右にならべ、互の親指を曲げて、つなぎ合わせて両手の掌を交互に上下に動かす。蝶の羽根を表わしたもの。

調印 決定——捺印(左手の掌の上に右手の彎曲した五指の指頭をつけ、大きな印判を押す真似)

調合 両手夫々の人差指と親指で輪をつくり試験管を持った心持で、右手試験管から左試験管に注ぎ入れ、左手の方を振って混ぜ合わせる身振。

調刻 左手にのみを持ち右手で槓を持った手の姿態をして、少し身体を斜めによじらせてのみを打って木を彫る身振。

吊辞 「悲しい」の手まねをして、両手で巻紙を左右に開いて行く身振りして読む(云う)

長所 よ美しい性質。

長女 初め(第一)——生れる——女性(葉)